

魯文祿
芳哉画



犬傳

廿九編下

特別
~ 13
4271
56

假名
八種



上編九廿

特別
~ 13
4271
55

假名 八種



上編九廿

特別
~ 13
4271
55

へ13
4271
55

魯文
録

菊壽堂

文庫

芳幾画

假名讀
八犬傳

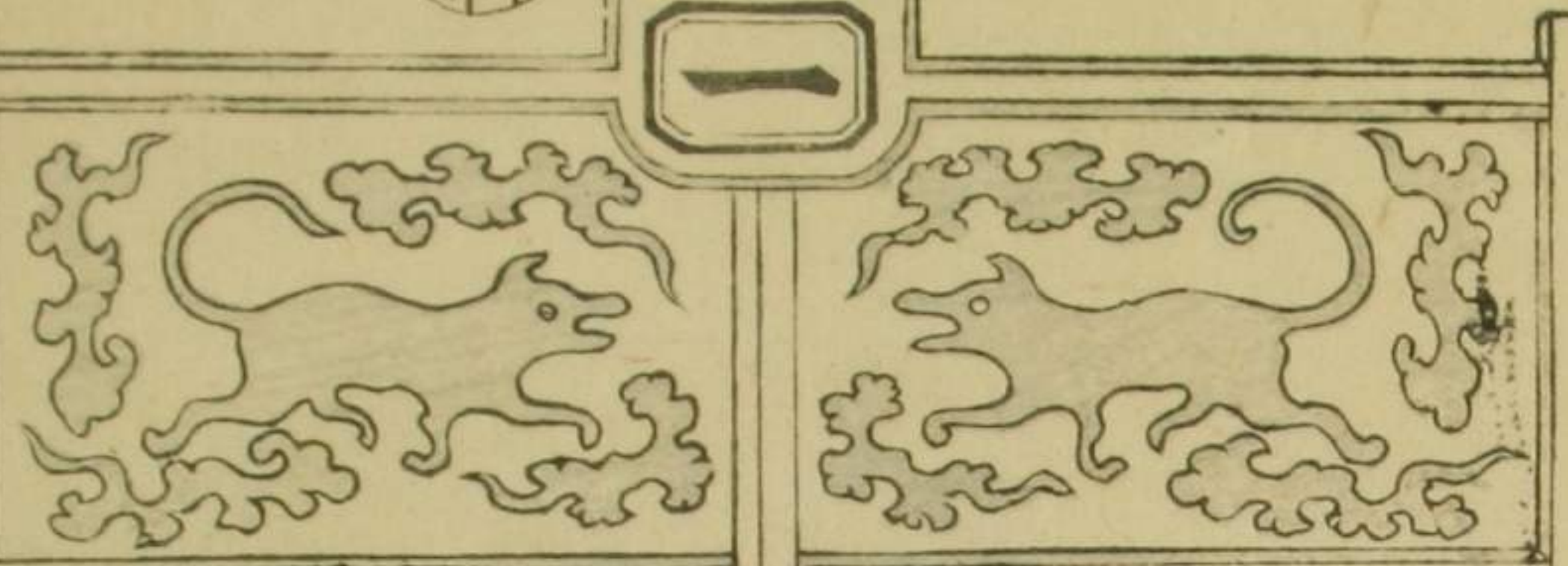
廿九編上



91-2298

前の録者琴童子が既廿七編の序文より誌せる如く原本第
九十二回より九十五回より續き軍談で謂修羅場の媚を
婦幼のころまゝ欲を繪様のなれば困果れと元來他作の抄
録物自在を得ると難いもバ攻伐戦闘を短く端折て其槩略を

筆記より此次三十編以下ハ未發の大江が富山の出身素藤退
治の間あり妙椿比丘尼の艶麗化姿濱路姫の嬋娟なる繪組の
工風ははし樂が毫を揮て御覽み入るハ暫時辛抱あるをぬと
序文ハ老實の述ることあり
假名垣魯文記





里見老候義實

富士
伏姫



子
郎四
雲

姥實
翁

六浪

花



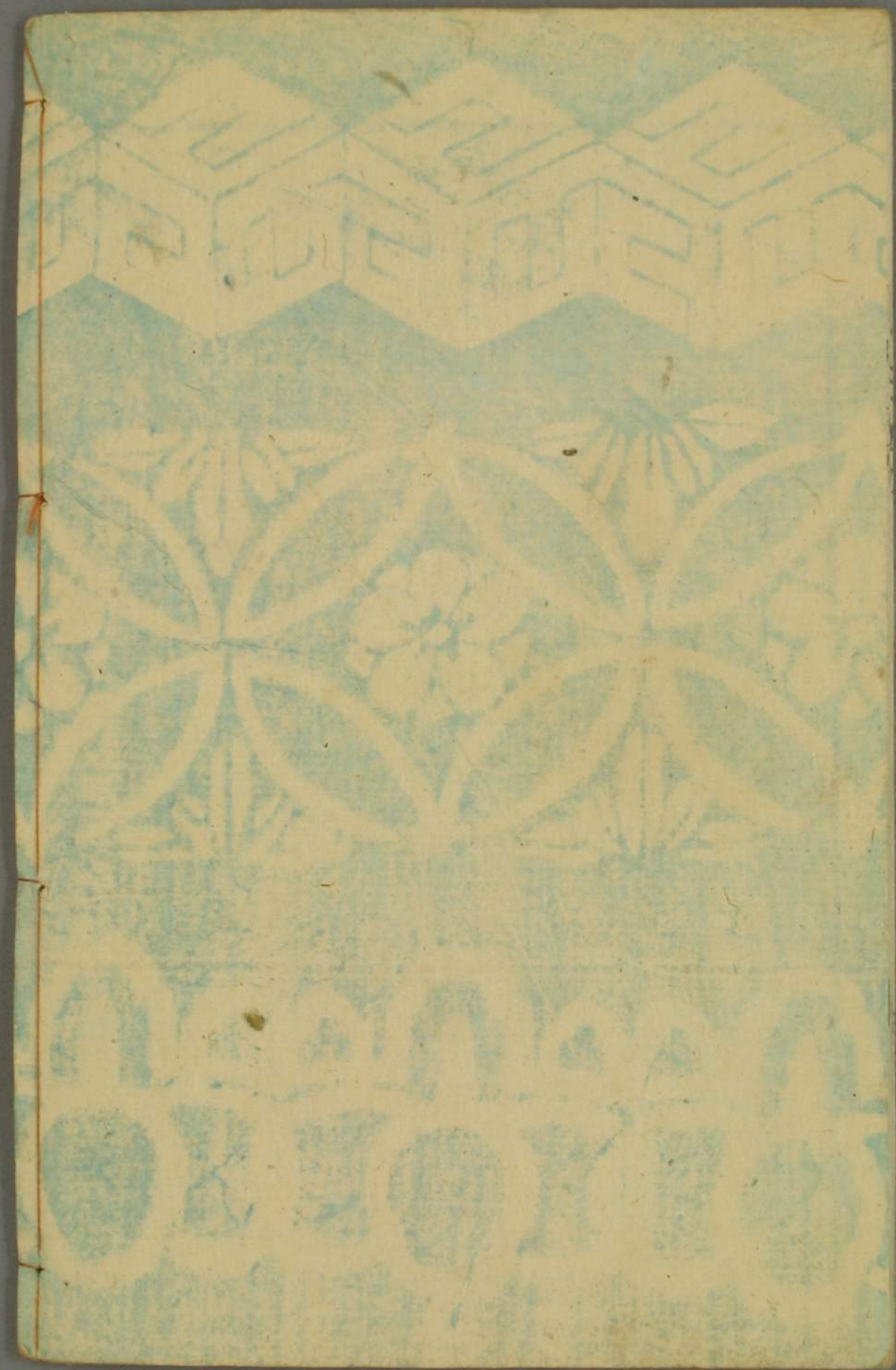
八
六
七
九



八
六
七
九



八
 九
 七
 九





犬傳

魯文祿

芳哉画

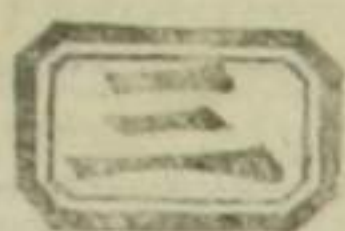
廿九編下

特別

~13

4271

56



Handwritten Japanese text is scattered throughout the illustration, including a vertical column on the right side of the upper section and a larger block of text at the bottom. The text includes characters like 甘茶, せい, and various phrases.

813
4271
56



不
あ
と
笑

八
あ
ん
侍

亦
九
へ
ん
下

丙寅季秋

廣
幸
板

る
文
様
と
一
綵
画



○此繪の様ハ世智助ガ
七犬士への物語と見ゆ

○此繪の様ハ世智助ガ
七犬士への物語と見ゆ
○此繪の様ハ世智助ガ
七犬士への物語と見ゆ



○此繪の様ハ世智助ガ
七犬士への物語と見ゆ

○此繪の様ハ世智助ガ
七犬士への物語と見ゆ



めつそをのぬきつづつひせと
りひまふせへ名あ
あふせちまけあ
れびしうらト

あふせちまけあ
れびしうらト

まき
さひ
まき
さひ
まき
さひ

まき
さひ
まき
さひ



あふせちまけあ
れびしうらト

あふせちまけあ
れびしうらト

あふせちまけあ
れびしうらト

あふせちまけあ
れびしうらト

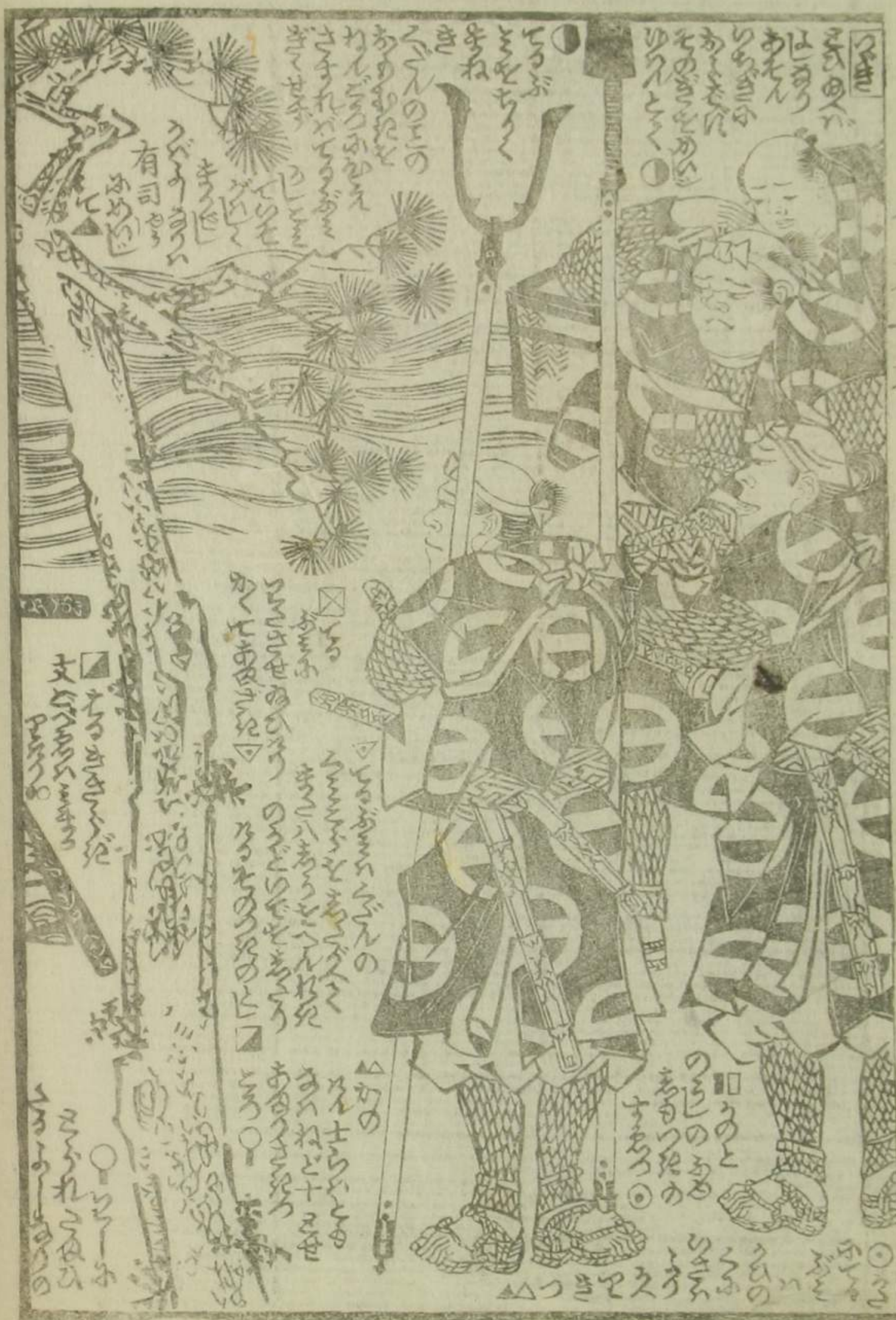
あふせちまけあ
れびしうらト

あふせちまけあ
れびしうらト



九十九

九十九

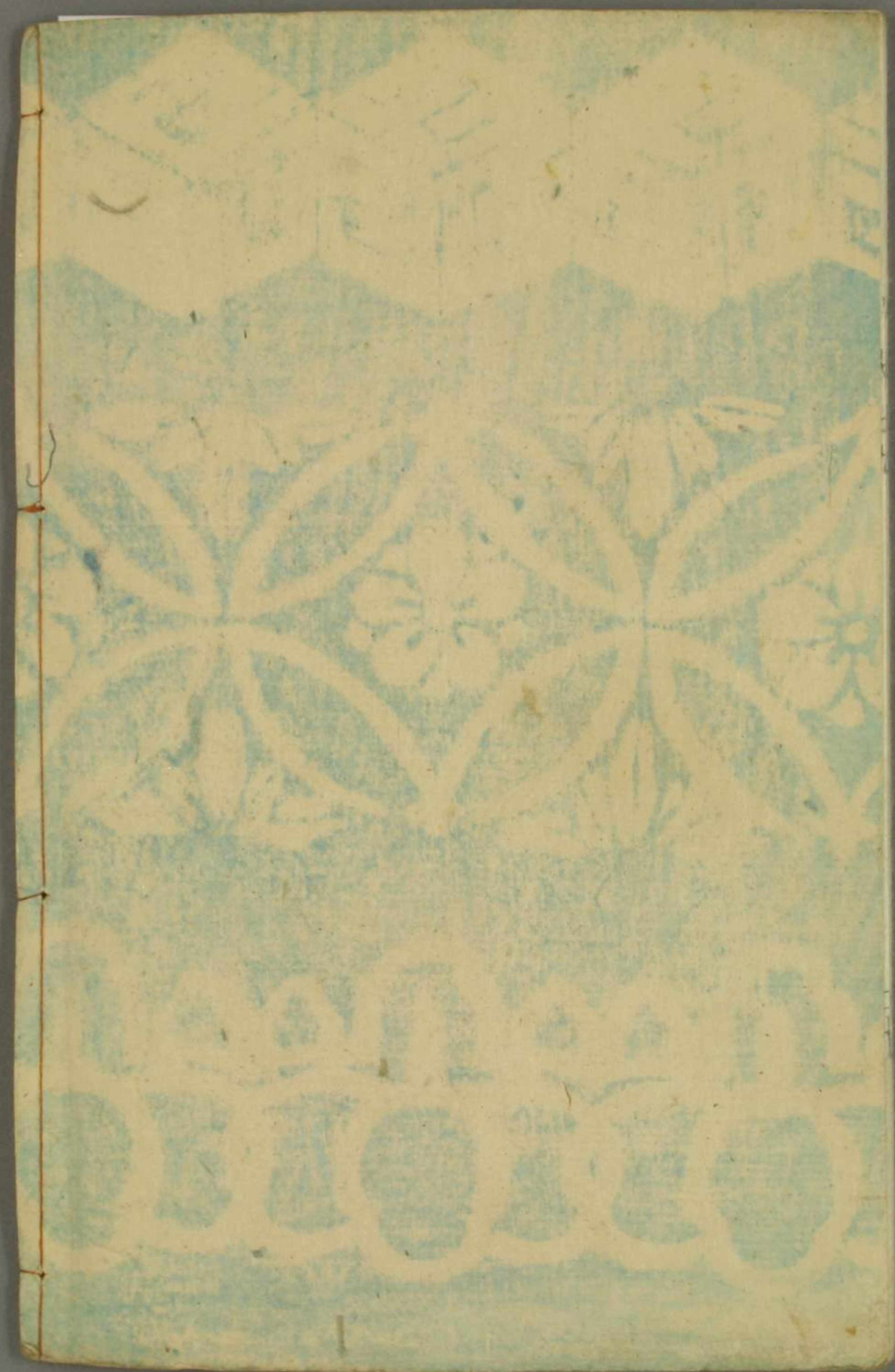


假名垣抄録
 芳幾圖
 寛文屋吉三郎
 此の巻は...
 芳幾の...
 業因素藤...
 行状...
 第卅編の...
 ちりめ...
 ちりべー



ノ 七 九

業因素藤
 行状
 第卅編の
 ちりめ
 ちりべー





曾日文録

芳幾画

假名讀八大傳

第廿九編

菊壽文庫

